



国際シンポジウム

ASEANの統合と開発： メコン川とミャンマーから考える

Chiba Studies on Global Fair Society International Symposium
“Whither the ASEAN Integration: the Case for Inclusiveness”

〈日時〉 2016年**11月19日(土)** 13:00～16:10 (受付開始12:30)

〈場所〉 千葉大学 西千葉キャンパス

人文社会科学系総合研究棟 1階 マルチメディア講義室

参加無料・申し込み不要

千葉大学では、グローバル社会の公正なあり方について研究を開始しました。

アウンサンスーチー氏らの新政権の政策決定に影響を持つミャンマーの研究所や、ASEAN(東南アジア諸国連合)で格差なき社会発展を研究する国際組織などから研究者をお招きし、ASEANを主題に、公正なグローバル社会の「インクルーシブネス」(全員参加型)のあり方についてともに考え、さらには、最近ニュースでも話題になる「国家の主権」とはどうあるべきなのかについても考えていきます。シンポジウムの成果は、市民社会からの提案としてASEAN関連機関にも直接提言する予定です。

〈パネリスト〉

Dr. Watcharas Leelawath (Mekong Institute代表)

Dr. Ben Belton (CESD ミャンマー経済社会開発センター)

Mr. Aung Hein (CESD ミャンマー経済社会開発センター)

当日は英語で講演や発表がなされ、日本語への同時通訳があります。

国際理解講座としても最適の内容です。会場内では、ASEAN諸国を中心とした国々から輸入されたフェアトレード商品も展示・販売を行う予定です。

皆様どうぞお越しください！

〈主催〉 千葉大学リーディング研究育成プログラム「未来型公正社会研究」

〈共催〉 科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)

「政治経済的地域統合」(研究代表 石戸光)

「文明と広域ネットワーク:生態圏からの思想、経済、運動のグローバル化まで」(研究代表 五十嵐誠一)

〈お問い合わせ先〉 千葉大学法政経学部 公正社会研究会 leading-21@chiba-u.jp